

私の考え方の事

吉田道子

「青い芝」本部主催の新年会が例年通り一月十五日、天候に恵まれた冬とは思えない程暖い日に約五十人の会員が集って開催された。開始時聞きはるか過ぎたのになかなか始まらないと思つていたら、いきなり世話係が「十二時過ぎましたからお弁当を食べて下さい」。まずは腹ごしらえをしてから、というわけか……。会で用意されたおいなりさんとのり巻のお弁当を食べながらあちこちで談笑の花が咲く。

がお弁当を食べ終った頃ようやくにして会長が「すっかり間が抜けてしまいまして皆さんようこそいらっしゃいました。これから何をやるのか分りませんが、楽しく過して行って下さい。」と初めの挨拶をする。次いで自己紹介に移り、トップは昨年四月自動車事故に遇つて以来初めて会に顔を出した石橋君で、曰く「自動車と相撲をとった石橋です」と、自己紹介は大方名前だけに止つたが、あとと自分の意見や希望も付け加えて云つてはしかつた。

それから福引きが行なわれていろいろの景品が出されたが、その景品大々にその品に合つた面白い文句を入れてあり、中でも傑作だったのは洋式のトイレントペーパーに「平安朝時代の文。長く長く楽しんで、余つたら拭いて下さい」というのだつた。

その後、日赤奉仕団の浅井氏の指導によつ

青い芝の新年会

て、青い芝の名にちなんで青組と芝組に分れて、ゴム風船のふくらましゅこや、向い合つた二人の背中についている色紙の色をお互に当てたり、また、三品で二百五十グラムの重さにする感覚テストの競争をしたり様々のゲームをして時間を過す。
かくして三時過ぎに無事散会した。

新年会に思うこと

豊島区 渡辺省三

月日のたつのは早いもので、私が入会してから二回目の新年会を迎えました。
今年は予想以上に会員の皆様方が多勢お集まりになり、とても賑やかで時のたつも忘れるほどの楽しい新年会でした。遠い所からはるばるお出かけ下さいました方々には、ほんとうに「ご苦労さま」と申し上げたいと思います。いつの集りの時でも、皆様の明るい笑顔を見たいとしておりますと、私はいつも大きな希望が湧いて来ます。
さて、私が日頃思っていることですが、会の皆様はどうなたでも一人一人が必ず人として良いところを持っていらっしゃいます。その良い所を結集して明るく楽しい青い芝の会を育てよ行きたいと思うのです。
終に、私のいたらぬところについて皆様の良き御指導をよろしくお願ひ申し上ます。では、青い芝の会の発展をお祈り致しつつこれにて。

卷之三

歳末 チヤリティ ショウ を終えて

新年会に思うこと

✿ 青い芝の新年会✿

暮からお正月私はよく睡られなかつた。友には自信家にみられてはいるが神経症一歩前と云うところか、それで私なりに結論が出るまで不眠と相成る。そのつもりで読んで頂きたい。前号の金沢恵氏のどこまでも続く十字架の中の未婚のOP女性はどのような型のどの位不自由なのかわからぬが結婚と子供と同じに考えないことだ。子供は自信がなかつたら生まれないようにも出来ると明るく答えてはしかつた。

私は無信仰であるが十字架云々のことはよくわかるがどんな夫婦であろうとも心理的にも生理的にも夫婦あることに区別して考へる方がおかしいと思う。あらゆる意味で夫婦であることへの努力を怠つてはならない。結婚を人はどうしてこう苦しみと鬱うだらうか、苦楽と共に哀歎を分け合つて生きていくのが人生なのだ。世間から吹き飛ばされる風とは何かよく解せないが風評のことか、そのことなら私共が結婚當時世間はびっくり仰天した。あのような息子に同じような嫁がと正に前代未聞のことだ。そういうことは一切平氣氛にするのは自意識過剰と云うものだ。ばかばかちんどん屋のはやし言葉は一時私の子供もさかんに言ひたてたがたとそれだけ

他人に対するねぎらいの態度、ひいては全ての事物に対する感謝の念が欠如しているのではないかと思われる。

私の決意

中村 敏一

* * 編集後

三日 ***

とにかく家族総員の状態で、売れ行き一十数枚もどつて来たりでそれこそやつとの思いで当日売り切ったのだ。

此の度の形式は各団体が参加し、団体の申し出た希望演目とその切符とりあつかい数に責任を荷して行なわれた。

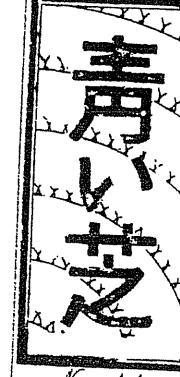
そして利益金は演目に關係なく定額の総計（出しものにより入場料が違う）を実行委員会に納入し、

（総売上+広告料その他の収入）

— 総経費 = 純利益
この純利益をパーセンテージに直しそれぞれの団体の総売上に相した金額が配分される。

先日の電話によると七十八パーセントとのことだ。結局額面の二割強が仕込み料となり青い芝の利益金は十萬円近いものとなる。青い芝にとって十万円はやはり大金だ。明日の飛躍を目指し会館設立を約す基礎固めの段階にあるからだ。

そう思い気負っては見たものゝ九万なにがしかを得るのに精一杯だ。四十万余円を会にもたらし交通事故に遭遇した前事務局長の石橋さん！新年会に元気な姿を見せてくれましたね。早く手をかけて下さい。青い芝生が変色し私の息が切れないうちに。



16. 44

身障者福祉法改正案

八月頃審議会で答申

発行所 世田谷区豪徳寺一の六〇六九
伊藤先生方 四二九〇八六九

印責編任集 創者社
三誠社 青い芝の会

日本脳性マヒ者協会
三〇〇 へべ〇九

41. 2. 29

昨年から厚生省内で種々検討されていた身障者福祉法の改正について、身障者福祉審議会が厚生大臣の諮問によりその審議を始めた。

会の予定である。

この改正の要點は、現在のものは「更生」という面が強調され、「保護」「援助」の面がなおざりにされているのを、「更生」と「援助」の二本柱に併せたものにあらため、

障者福祉に対する國の責任を明確にし強化し

より幅広い福祉体系を確立するところに、身

改革されるところで、特に問題となつてい

るのは次の通りである。

一、更生、授産などの施設が貧弱であり、

かつバラバラであるため、体系だった指導も

できない。今後、たんに施設の増設と充実を

するだけでなく、その近代化をはかることが必要。

二、とくに在宅の身障者に対する援護の強

新春を迎えて私なりに思つた事を、思いのまゝに筆を取つてみました。
私のように竹の子にとうが立つてしまつた年令になりますと、お正月が来ても又お正月かと思う心が多くなりますが、年令にはかかわりなし、新たな希望に燃えないと之なうと思つました。

例年通りに神の前にひざまづいて悔い改めをかばいすぎて、その障害を売り物にして高慢になつて、反対に痛めつけられて嘆き苦しむのではないかということでした。

どんな重度者でも健全者も人間としては何の変りもございません。どんな人でもこの世の旅路は苦しいものです。

それについてなんと言つても苦難に負けてしまつたと、思いました。

今年こそ自分のやれるだけはやって、ベトワベーンの交響曲や九番が明るい明るい喜びをえがいているように何事も忘れて勇敢に明るく力強く生きたいと、決意しました。

昔から明るい家には幸福があると言われますように、明るく生きる事が大切ではないで

しょうか。心の持ち方で明るく生きる事ができますと思ひます。

その決意の中で思つたことは、自分の障害を無事に過ごすようによつて折りました。

○今年は会が発足して八年目になつてしまつた。八年間 = 何をやつて来ただろうか。

何にもやつて來ないとは言えないと思う。

機関紙も月一回発行する事になつたし、社

会活動に目を向ける様になつたのは発展を見たと言つてもいいだろう。

しかし、それだけで喜んでいていいだろ

うか、今年度の厚生省の予算には、大きな予算が折り込まれていても、重度者の計画はやつと雀の涙程しか折り込まれていないのが、現状の私たちのおかれの姿と思うと共に、今年こそもっと前進してもらいたいものだ。

○一月のお正月だよりは、皆さんの原稿が集まらずに特集とはなりませんでした。

二月と三月は選挙の立候補者の発表と投票結果の発表があるので、特集は休む事にしま

す。又一月の会報は、部合によつて遅れてしまふ事も心からおわびします。

○原稿〆切りは二月十日

○昭和四十一年の新年を迎えて皆さんは、さぞ新しい希望に燃えておられる事でしよう。広報部は、今年の午年あやかつて飛躍つて一層明るい記事を出来るだけのせる様に努力して会の發展の為に役目をはたし、皆さんの要望に答えて行きたいと思う。

○今年は会が発足して八年目になつてしまつた。八年間 = 何をやつて來ないとは言えないと思う。

機関紙も月一回発行する事になつたし、社会活動に目を向ける様になつたのは発展を見たと言つてもいいだろう。

しかし、それだけで喜んでいていいだろ

うか、今年度の厚生省の予算には、大きな予算が折り込まれていても、重度者の計画はやつと雀の涙程しか折り込まれていないのが、現状の私たちのおかれの姿と思うと共に、今年こそもっと前進してもらいたいものだ。

○一月のお正月だよりは、皆さんの原稿が集まらずに特集とはなりませんでした。

二月と三月は選挙の立候補者の発表と投票結果の発表があるので、特集は休む事にしま

す。又一月の会報は、部合によつて遅れてしまふ事も心からおわびします。

○原稿〆切りは二月十日

-1-

事務所住居表示変更おしらせ

昨年采大きな関心をもたれている心身障害児・者のための国立コロニー設置について、医化・特殊手当などの法制化、家庭奉仕員制度、内職主せん、雇用促進、税の減免、身障者専用住宅の建設など。

三、身障者福祉に対する国と地方公共団体の事務分配および責任体制について。

この意見書ではまず、心身の障害をもつすべき、牧畜、農耕等もできるよう百萬坪ほど

の土地が必要である。

以上のような構想にもとづいて、厚生省では近くその建設地を決定する予定。

次のように述べている。

「コロニー懇談会」では去る十月から検討をして來たが、このほどその基本的な構想をまとめて、厚生大臣に対して意見書を提出した。

この意見書ではまず、心身の障害をもつすべき、牧畜、農耕等もできるよう百萬坪ほど

の土地が必要である。

以上のように述べている。

①コロニーの機能は基本的には生活共同体であり、治療・訓練とともに障害の程度に応じた生産活動と日常生活ができる。

東京都世田谷区豪徳寺一の一八一一

伊藤先生方 電話（四二九）〇八六九